

(4) 産業振興施設（腰越漁港）

1) 施設の特徴

本市で管理している産業振興施設は腰越漁港があります。腰越漁港は、平成 19 年度（2007 年度）より改修をすすめ、防砂堤の延長、船揚場や展望スペースを整備しました。

腰越漁港は、昭和 31 年（1956 年）から昭和 39 年（1964 年）にかけて基本施設を整備し、昭和 39 年（1964 年）10 月に開港しました。その後、数回に渡り漁港機能向上のため、改修工事が行われてきましたが、施設の老朽化と狭あい化が顕著となったため、水産庁から漁村再生交付金による事業採択を受け、改修整備に着手し、平成 26 年（2014 年）8 月に完成しました。

これにより、従来は台風などによる漁船の破損などを避けるため油壺湾に船を避難させていましたが、新たな防波堤により湾内の波が静かになるため、荒天でも停泊が可能になりました。

2) 管理数量

産業振興施設の管理数量は次のとおりです。

表 2-24 漁港の管理数量

施設名	種別	主な施設	数量	備考
産業振興施設	腰越漁港	2 防波堤	400 m	昭和 39 年（1964 年）10 月開港
		展望スペース	1 箇所	平成 26 年（2014 年）8 月改修

3) 管理経費の歳出実績と将来の管理経費の試算

表 2-25 産業振興施設（腰越漁港）

平成 25 年度（2013 年度）の歳出実績と将来の管理経費の試算の比較表

経費の内訳	歳出実績① (千円/年度)	将来の試算② (千円/年度)	差額②-① (将来の試算 - 歳出実績) (千円/年度)	試算の割合 ②/① (%)	備考
維持管理経費	4,025	—	—	—	
補修更新経費	0	—	—	—	
合計	4,025	— (A)	— (B)	— (C)	

産業振興施設（腰越漁港）は平成 18 年度（2006 年度）から指定管理者制度を導入しており、平成 26 年度（2014 年度）に大規模改修が終了し、今後の維持管理に関しては、指定管理者制度による管理を継続することから、平成 25 年度（2013 年度）の歳出実績のみを示します。

4) 施設の情報・データの管理状況

産業振興施設（腰越漁港）は、平成 19 年度（2007 年度）から大規模改修工事を行い平成 26 年度（2014 年度）に完成しているため、補修履歴情報等の保全に努めることとします。

5) 施設の管理上の課題

産業振興施設（腰越漁港）は、平成 19 年度（2007 年度）から大規模改修工事を行い平成 26 年度（2014 年度）に完成しているため、施設の管理上の課題に関しては、今後の施設の利用状況を確認しながら把握に努めます。